84字でらくらく燐字入門

がなったが

好 图 五兴松四的玩生二日本日面

アイル共和国文化省対外広報処日本語部署

草書 風字 (プアマーン) **楷書** 官字 (ユーマーン)

团兴和云场

兴.

大海

【翻字】

全心皇片噫。 地心無即人心行貧。何故人心加地心無同乎? 人手之心行貧於地心無之地。

全ての心は皇三の一部分じゃないか。どうして人の心と文化が同じでないなどというのか?文化二がなければ、人の心は貧しくなる。人の持つ心一は、文化のない場所では貧しくなる。

- 万物に宿る精神のことを示す概念である。ここでの「心(ヒヤー)」は土着信仰「皇論(タムツイ)」において、
- 対象である。「皇(タム)」は心の集まりのことであり、皇論においての最大の信仰の心と対比してこのような表現をしている。ないと対比してこのような表現をしている。

三

はじめに

こんにちは、日本のみなさん!

この本の最初に書かれています変な文字は、ファイクレオネという星で人々が使っており、清字(リンマーン)の名前を貰っております。日本語では、日本机戦連盟などによって、燐帝字母(りんていじぼ)や燐字(りんじ)と言われております。

この文字はラネーメ王朝の

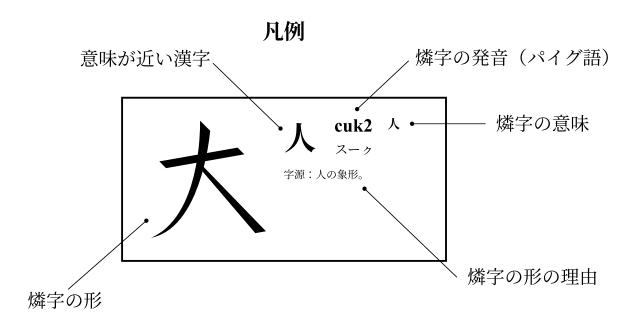
皇帝にございますアレス・リンが ご統一遊ばされたと伝えられており、日本 で人々が使っている漢字とよく似た特徴がございます。

このたび我々がこの本を書き、みなさんは重要燐字を努力なく学ぶことが可能です。この本には84文字があり、これはアイル共和国にいる全ての人が知るものです。この本の84文字を学べば、最初の文を遅く読み、理解することが可能です。さらに、机戦などの我々の文化や言語をさらに知るとき、燐字知識はきっと助力です。加えて、この本では燐字の形と発音と意味を書き、さらにその燐字の形の理由と意味が近い漢字を掲載しています。

我々の部署はみなさんがこの本を使って燐字を学び、文化を豊かに感じてく ださることを思っています。

> アイル共和国文化省対外広報処日本語部署 上等事務員 カジカ・ソタモナ

> > V 2 12 2



cuk2 人 スーゥ

字源:人の象形。



我 pai2 私

字源:【人】+【己】の会意。

mua2 あなた 汝

ムヮー

字源:【人】+【己の反転字】の会

意。



kal これ、この 此

カー

字源:【己】+【ものの象形】の会

zel それ、その チェー

字源:会意。もとは【己の反転字】の みであったが、【物】と字形が衝突し たため【ものの象形】を付加して分化 させた。

彼 zap2 彼、彼女 チャープ [文]あれ

字源:【己の反転字】+【己】の訛

※パイグ語では非生物に対する遠称は ze1を用い、zap2は人にのみ用いる。

hia1 心、思う、 ~したい、 ヒャー ~だろう

字源:【人】の心臓付近を強調した

字。の象形。

kait 良い

カイト

字源:【上】+【心】の会意。



non1 悪い 悪

ノーン

字源:【下】+【心】の会意。

nan2 何 何

字源:【心】+【無】の会意。



mun1 無い、 いいえ、 ~ない

字源:小さい点で【無】を示す。

aim2 ある、いる、 はい、~して アイム いる

字源:【処】の強調字。



zep1 言う、言語 **青**チェープ

字源:【口】からの気息を表す。

ie ~に、~で

イェ

字源:【在】の訛字。

nui2 学問

字源:【筆】+【入】の象形。



zau する、行う

チャゥ

字源:金槌を持った手の象形。

~0

字源:元は句読点か。

ところ、場所 hue

ホェ

字源:横棒二本で【処】を示す。

yn2 ~か? ユン

字源:不詳。



kit とても、非常 極

字源:【物】+【物】の会意。

だなあ(感動 詞)

字源:【声】+【心】の会意。

kua2 書く、筆、書 記官、クワ クヮー (姓)

字源:筆の象形。

sip1 国 玉

ズィープ

字源:【王】を囲んで国を表す。

py ਇ ਤ 力、能力、~ できる

字源:分銅の象形。

字源:形声の仮借。燐帝は「必ず存在 する【黍】と【虫】を並べ、確実さを 表す」と解釈した(誤り)。

iam1 口、飲み食い する ヤーム

字源:口の象形。

mok1 行く、~しよ 行 うとする

字源:【足】+【足】の会意。

sak2 来る

ザーゥ

字源:【行】の反転字。

上 sau2 上、前の、先 ヴーゥ

字源:指事。基準としての横棒に対しての上を示す。



下 ut2 下、次の、後 ウート の

字源:指事。基準としての横棒に対しての下を示す。

左 tyn1 左

字源:指事。基準となる縦棒に対して左であることを示す。



右 ky1 ^右

字源:指事。基準となる縦棒に対して 右であることを示す。

界

時 kak とき

字源:【日】+【足】の会意。



手 hop1 ま、持っている

字源:手の象形。

+

足 xi1 足

字源:足の象形。



銭 su1 金銭、ズー (通貨単位)

字源: 束ねた穴あき銭の象形。

11

FII hem

e**m** というわけで (接続詞)

字源:元は句読点か。



山 ua ~て (接続 詞)

字源:元は句読点か。

尹

片 tui2 与える

トゥィ

字源:【ものの象形】+【手】の会

古

愛 guk2 受ける、もら グーク う、~される

字源:【与】の反転字。

田

☐ kia1 日、太陽

キャー

字源:太陽の象形。

丑

月 xem1 月

字源:月の象形。

pet2 星、年

プート

字源:【天】+【軸】の会意。



kan1 火、燃える

カーン

字源:火の象形。

nua2 水、流れる

ヌァー

字源:水面の象形。



pua2 風 風

プヮー

字源:風の作るうずの象形。

mam1 母

マーム

字源:【上】+【女】の会意。



X kuak1 ダ

字源:【上】+【男】の会意。

全ての be1 ブー

字源:【物】+【周りを囲む線】の会

~たち

字源:【人】+【人】の会意。

~と(接続 at 詞)、加える アト

字源:二つのものを繋いでいるさまを

示す。

pau1 異なる、分別

字源:二つのものを繋いでいるさまを 分割しているさまを示す。

同じ、~も bap 同 バプ

字源: 【ものの象形】二つを一本の線 で貫いて同じであることを示す。

et2 エート

字源:指事。一本線で「いち」を示

__ ik2 --- イーク

字源:【一】+【一】の会意。

 \equiv om2

オウム

字源: 【一】+【一】+【一】の会

四

字源:指事。四方向を示す。



un1 ∄ ウーン

字源:指事。一本線で「ご」を示す。 古代の計算用具との関連がある。

___ net2 六 **ノ**ト

字源:【五】+【一】の会意。



nik2 ±

字源:【五】+【二】の会意。

nom2 八

ノウム

字源:【五】+【三】の会意。



nap1 九 上_{ナープ}

字源:【五】+【四】の会意。

nun1 + ヌーン

字源:【五】+【五】の訛字。



kit1 百

キート

字源:会意。もとは【大】が百の意味 をも表していたが、【物】を付加して 分化した。

hut2 始める

ホォト

字源:日の出の象形。始まりを意味す

~した、[文] 終わる、終え

字源: 【始】の反転字。

ian1

作る、出す、 生む、生じ る、[文]~で

字源:ある位置から ある 【足】を出した形の

象形。

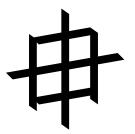
消える、消 lit1 す、入れる、 リート

字源:【生】の反転字。

冠 ai2

かんむり、帽 子、アイル

字源:かんむりの象形。



皇 tam2 タム(信仰対 象)

字源:不詳。

tun2 神、精霊

トゥーン

字源:稲妻の象形。

mal 大きい

字源:基準としての二本の横棒に対し てその上を表すことで、大きい様を表

小さい ni1

字源:基準としての二本の横棒に対 してその下を表すことで、小さい様 を表す。

taun1 多い

タウーン

字源:【人】と【人】で人の多い様を 表す。

少ない hue1 ホエー

字源:短い線で少ない事を示す。

e pok 色 **ユ** ポク

字源:多くの刻みの象形。飾りから色 の意に転じた。

kok1 赤(い) コーゥ

字源:【色】+【火】の会意。

並 nuok2 青(い)

育 ヌォーク

字源:【色】+【水】の会意。

liok1 自(い)

リョーク

字源:【色】+【光】の会意。

huok2 黒 (い)

フォーク

字源:【色】+【闇】の会意。

huep2 土地、地面

ホエープ

字源: 【神】と【処】の組み合わせ の訛字。【処】の兄弟。

LL zuo1 欠片、駒、 ツォーゥ **55.4mm、**

字源:【石】に点を付して石の欠片を 表したものが訛った。

中身が少ない hei2

字源:【少】と【銭】の組み合わせ。

故 xit2 理由

字源:【言】と【上】を組み合わせ、 発言の前にあるものを表す。

